

第2次香南市男女共同参画推進
実施計画書

令和8年度（2026年度）版

香南市

1 男女共同参画社会を目指す意識づくり				
(1) アンコンシャス・バイアスを解消する				
取組の方向性	個表番号	各課の取組	担当課	ページ
①意識改革と社会制度・慣行の見直し	1	広報誌やホームページなどによる広報・啓発を行う。	人権課	5
	2	国、県などの動向や法律などの情報を収集し広報・啓発を行う。	人権課	
	3	男女共同参画をテーマとした講演会を開催する。	人権課	
	4	職員に対して、こうち男女共同参画センター「ソーレ」等が主催する研修会への積極的な参加を促し、意識向上を図る。	人権課	6
	5	関係団体と連携した広報・啓発活動を実施する。	人権課	
	6	男女共同参画を阻害する諸制度や慣行の見直しに向けた講演会などを実施する。	人権課	
②メディアにおける男女共同参画の推進	7	市が発行する刊行物において、男女共同参画の視点に立った表現の普及を図る。	人権課	7
	8	広報誌「こうなんNOW」編集の際、男女共同参画の視点に立った表現を心がける。	総務課	
(2) さまざまな場での意識を変える				
①家庭における男女共同参画の推進	9	家庭におけるよりよいパートナーシップについての啓発を図る。	人権課	8
	10	毎月の園だよりで「家庭の日」の周知を行う。	こども課	
	11	パパママ教室を開催する。	健康対策課	
②学びの場での男女共同参画教育の推進	12	就学前の保護者に対する子育て・親育て講演会を実施する。	こども課	9
	13	固定的な性別役割分担意識にとらわれない男女の人権を尊重する教育を推進する。	学校教育課	
	14	各中学校で思春期保健事業を実施する。	健康対策課	10
③働く場での意識啓発	15	企業などにおいてハラスメントを防止する研修会などを推進する。	人権課	11
	16	イベントにおいてハラスメントに関する啓発活動を推進する。	人権課	
	17	企業訪問時に、働きやすい職場の環境づくりの推進に向けて働きかけを行う。	商工観光課	

(3) あらゆる暴力を根絶する【DV防止基本計画】

取組の方向性	個表番号	各課の取組	担当課	ページ
①暴力を許さない意識の醸成	18	暴力根絶のため人権啓発フェスティバル、人権週間に合わせて啓発パネルの展示や冊子の配布を行う。	人権課	12
	19	児童虐待及び通告に関する周知啓発に取り組む。	福祉事務所	
	20	デートDV防止活動として、広報誌への啓発記事掲載などを行う。また、城山高校の生徒に対しDV防止冊子「それってラブラブ？」を配布する。	人権課	
②DVやハラスメント相談・支援体制の充実	21	研修会等に積極的に参加して職員のスキルアップを図り、相談支援の充実に取り組む。	人権課	13
	22	児童相談所や女性相談支援センター、警察など関係機関と連携を取りながら被害者からの相談、保護に取り組む。	福祉事務所	
	23	被害者の自立に向け、関係課や警察、女性相談支援センター、児童相談所など関係機関と連携を図り支援する。	人権課	
	24	関係課や女性相談支援センター、警察など関係機関と連携を密にし、支援の充実を図る。	人権課	14
	25	職場のトラブル（解雇、パワハラなど）の無料労働相談会などの開催について広報誌に掲載する。	商工観光課	
	26	ハラスメント防止研修の実施及び相談体制の充実を図る。	総務課	
	27	香南市要保護児童対策地域協議会において、関係機関との連携や支援の充実を図る。	福祉事務所	

2 男女がともに活躍する環境づくり【女性活躍推進基本計画】				
(1) 働く場における女性活躍を推進する				
取組の方向性	個表番号	各課の取組	担当課	ページ
①多様なニーズに応じた就労支援	28	ハローワークの求人情報の提供及び市民館の相談支援での女性の就職に対する支援を行う。	人権課	16
	29	就職に関する情報提供を行うとともに企業説明会や面接会を開催し、女性の就職につなげる。	商工観光課	
②女性の再就職支援、起業支援	30	ハローワークの求人情報の提供及び市民館の相談支援での女性の再就職に対する支援を行う。	人権課	17
	31	関係機関と連携し、再就職に関する企業情報及び再就職支援イベントの情報発信を行う。	商工観光課	
③職場における男女の均等な雇用機会と待遇の確保	32	(再掲) 職場のトラブル(解雇、パワハラなど)の無料労働相談会などの開催について広報誌に掲載する。	商工観光課	17
	33	企業訪問時や企業交流会等の機会を通じて、働きやすい職場環境づくりの啓発に取り組む。	商工観光課	
(2) 意思決定の場への女性参画を促進する				
①各委員会等への女性の参画促進	34	所管する各審議会・委員会における女性委員の登用割合を30%になるよう推進する。	人権課	18
(3) ワーク・ライフ・バランスを実現する				
①ワーク・ライフ・バランスの理解促進	35	「香南市特定事業主行動計画」に基づき出産・子育てのしやすい、ワーク・ライフ・バランスを実現できる職場環境の形成等に取り組む。	総務課	19
	36		総務課	
②子育て・介護支援の充実	37	介護サービスなど支援の充実を図る。	高齢者介護課	20
	38	障害者・障害児福祉サービスなど支援の充実を図る。	福祉事務所	
	39	子育てに関する相談や交流の場の提供及び子育て関連の情報を提供する。	こども課	
	40	保育施設の受け入れ枠の拡大や低年齢児保育、病後児保育など、多様な保育サービスの提供に努める。	こども課	21
	41	放課後児童クラブ及び放課後こども教室を実施する。	こども課	22
	42	家庭支援推進保育士を配置し、支援の必要な家庭の訪問などを実施する。	こども課	
	43	ライフステージに合わせた各種料理教室などを開催する。	生涯学習課	23

3 安心して多様な暮らしができるまちづくり				
(1) 地域における男女共同参画を推進する				
取組の方向性	個表番号	各課の取組	担当課	ページ
①地域活動への参画の促進	44	男女が共に地域活動への参画ができる機会を増やすため、自治会、協議会の全地区設立を目指す。	地域支援課 各支所	24
	45	環境監視員の人材確保も含め女性の参画を図りながら、監視パトロールを実施する。	環境対策課	
②防災分野での男女共同参画の拡大	46	自主防災組織等の活動において、女性の参画を推進する。	防災対策課	
(2) あらゆる人の安心を支える				
①貧困など困難を抱える人（ひとり親家庭等）への支援	47	児童扶養手当の支給及びひとり親家庭などに向けた医療費助成を実施する。	市民保険課	25
	48	ひとり親家庭自立支援事業費補助金や高知県母子父子寡婦福祉資金等の活用により、ひとり親家庭の自立支援に取り組む。	福祉事務所	
②困難な状況におかれている女性への支援【困難女性支援基本計画】	49	公共施設のトイレで、相談窓口を掲載したカードを同封した生理用品（個包装）の無料配布を行う。	人権課	
③高齢者や障害のある人、外国人市民への支援	50	高齢者が健康で充実した生活を送ることができるよう、介護予防事業等の充実を図る。	高齢者介護課	26
	51	高齢者や家族の相談窓口の設置、高齢者世帯などの実態把握に努める。	高齢者介護課	
	52	いきいきクラブ事業や自主運動グループ、高齢者クラブなどを実施する。	高齢者介護課	27
	53	障害のある人が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、各種福祉サービス等の充実を図る。	福祉事務所	
④性的少数者への支援	54	性の多様性に関する理解を深めるための講演会等を実施する。	人権課	28
	55	パートナーシップ宣誓制度の普及・啓発を行う。	人権課	
	56	性の多様性に関する職員研修を実施する。	人権課	
(3) 生涯を通じてからだところの健康を維持する				
①妊娠・出産における保健医療対策の充実	57	妊娠・出産における健康支援の充実を図る。	健康対策課	29
②適切な性教育の推進	58	小中学校における性教育などを推進する。	学校教育課	
③生涯にわたる健康の保持増進	59	特定健診とがん検診のセット検診を実施する。	健康対策課	30

基本目標		1 男女共同参画社会を目指す意識づくり			
推進方策		(1) アンコンシャス・バイアスを解消する			
取組の方向性		①意識改革と社会制度・慣行の見直し			
具体的な取組①		世界、国、県などの動向や法律などの情報を収集し、市広報誌やホームページなどによる広報・啓発を行います。			
個表番号 1	各課の取組	広報誌やホームページなどによる広報・啓発を行う。	課名	人権課	
	前年度 事業実績	<p>○広報誌とホームページへの掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月号：国の男女共同参画週間及び県の男女共同参画月間にあわせて、広報誌のお知らせページに男女共同参画について掲載した。 ・ホームページ：令和7年度香南市男女共同参画推進実施計画書を掲載した。 			
		成果	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画週間と月間に合わせて、広報誌に掲載したことで、市民への意識向上が進み、男女共同参画の重要性・必要性について理解が深まった。 ・ホームページに実施計画書を公開したことで、市民に対して事業の公表と周知が図れた。 		
		課題	男女共同参画に関する情報を広報誌やホームページに掲載したが、十分に市民に周知されていない可能性がある。		
	達成度	①：概ね達成できた ②：達成には至らないが取組中 ③：未実施			
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度計画内容	講演会等を開催する際に啓発パネル展示、啓発冊子の配布を行いながら、広報誌の「じんけん通信」やお知らせコーナーで、男女共同参画について継続して情報発信を行う。				
個表番号 2	各課の取組	国、県などの動向や法律などの情報を収集し広報・啓発を行う。	課名	人権課	
	前年度 事業実績	国や県などから依頼のあった男女共同参画に関するチラシや情報誌等を本庁2階の情報コーナーや人権課および各支所のカウンターに設置し、年間を通して情報発信した。			
		成果	年間を通して情報発信を行ったことで、男性・女性問わず、さまざまな市民に対する男女共同参画の理解促進が進んだと考えられる。		
		課題	特定の年齢層や職業層に偏った情報提供となりがちで、若年層や労働者層への情報届けが不十分である可能性がある。		
	達成度	①：概ね達成できた ②：達成には至らないが取組中 ③：未実施			
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度計画内容	国や県などの男女共同参画の取組みに関する情報誌等の配布、研修会・講演会の広報誌掲載を行い、幅広い年齢層に向けて、継続して取組みを推進する。				
具体的な取組②		男女共同参画をテーマとした講演会を開催するとともに、参加できなかった人に向けて可能な限り講演内容をケーブルテレビで放送するよう取組みます。			
個表番号 3	各課の取組	男女共同参画をテーマとした講演会を開催する。	課名	人権課	
	前年度 事業実績	<p>○アンコンシャス・バイアス（無意識な偏見）について、香南市企業等人権問題連絡協議会と連携して研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会後の研修 日 時：令和7年6月26日（金） 演 題：アンコンシャス・バイアス ～気づきを行動へ～ 講 師：中村 智砂 氏（こうち男女共同参画社会づくり財団） 受講者数：25名（加盟企業：9名 市職員：16名） <p>○ソーレ主催 令和7年度DV防止啓発講演会 のいちふれあいセンターにサテライト会場を開設した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日 時：令和7年11月8日（土） 演 題：それってラブラブ？ ～束縛は愛かそれともDVか～ 講 師：山口 のり子 氏（一般社団法人アウェア 代表理事） 受講者数：15名（一般：12名 職員：3名） 			
		成果	<ul style="list-style-type: none"> ・サテライト会場（ソーレ）の設置により、会場に行きづらい市民にも参加の機会を提供することができ、専門的かつ実践的な知識の普及が図れた。 ・講演会のアンケートでは、バイアス（無意識の偏見）やDVに対する理解が深まったとの回答が多く見られ、参加者の意識啓発につながった。 		
		課題	講演会において、参加者のほとんどが既に関心のある層に偏っており、いかに新規層に参加してもらえるかといった課題がある。		
	達成度	①：概ね達成できた ②：達成には至らないが取組中 ③：未実施			
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画をテーマとした講演会を継続して開催する。（サテライト会場（ソーレ）での開催を含む。）また、新規層の参加を獲得するために、周知方法などについて再確認する。 ・講演会に参加できなかった方に向け、可能な限り講演内容を香南ケーブルテレビで放送するよう取組む。 				

具体的な取組③		市政において男女共同参画の視点に立った施策展開ができるよう、研修への積極的な参加など市職員の意識向上を図ります。また、地域における事業を計画・実行する町内会や自治会の代表者等についても、意識向上を図ります。		
個表番号 4	各課の取組	職員に対して、こうち男女共同参画センター「ソーレ」等が主催する研修会への積極的な参加を促し、意識向上を図る。	課名 人権課	
	前年度事業実績	○「ソーレ」主催の講演会やイベントについて、全職員に向けてグループウェアで情報提供した。 ・ソーレ主催 令和7年度DV防止啓発講演会 のいちふれあいセンターにサテライト会場開設 日 時：令和7年11月8日（土）13：30～15：30 演 題：それってラブラブ？ ～束縛は愛かそれともDVか～ 講 師：山口 のり子 氏（一般社団法人アウェア 代表理事） 受講者数：15名（一般：12名 職員：3名）		
		成果	サテライト会場（ソーレ）を設置したことで、物理的な距離や参加者の都合に配慮した形で、より多くの職員や地域住民が参加しやすい環境が整備された。	
		課題	・職員の参加者（人権課以外）がいなかったため、啓発効果が限定的であった。 ・職員に対して、告知方法や動機づけが不足していた可能性がある。	
	達成度	A：概ね達成できた B：達成には至らないが取組中 C：未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度計画内容	引き続き、男女共同参画をテーマとした研修会・講演会の情報提供を行う。また、グループウェアにおける情報提供については、日常生活、業務で起こりうる具体的事例を取り入れて、自分事のように捉えるよう図る。			

具体的な取組④		男女共同参画を阻害する慣行の見直しや改善に向けて、ポスター掲示やチラシの配布などの情報発信、法律や慣行の見直しに向けた講演会などを実施します。		
個表番号 5	各課の取組	関係団体と連携した広報・啓発活動を実施する。	課名 人権課	
	前年度事業実績	OSNS・ホームページへの掲載。 ソーレ主催の国際女性デーに合わせて開催された講演会について、市のSNSとホームページにて広報した。		
		成果	SNS、ホームページを活用したことで、ソーレ主催の講演会について市民に周知することができた。	
		課題	SNS、ホームページに掲載したが、その情報を見て、どのくらいの市民が関心を示したかが不明である。	
	達成度	A：概ね達成できた B：達成には至らないが取組中 C：未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度計画内容	引き続き、関係機関が開催する講演会などについて、広報誌、SNS、ホームページへ継続して掲載する。			
個表番号 6	各課の取組	男女共同参画を阻害する諸制度や慣行の見直しに向けた講演会などを実施する。	課名 人権課	
	前年度事業実績	○アンコンシャス・バイアス（無意識な偏見）について、香南市企業等人権問題連絡協議会と連携して研修を実施した。 ・総会後の研修 日 時：令和7年6月26日（金） 演 題：アンコンシャス・バイアス ～気づきを行動へ～ 講 師：中村 智砂 氏（こうち男女共同参画社会づくり財団） 受講者数：25名（加盟企業：9名 市職員：16名） ○香南いきいきセミナー（男女共同参画） 日 時：令和7年10月5日（日） 演 題：子育てトークショー 講 師：つるの 剛士 氏（タレント） 受講者数：197名 ○ソーレ主催 令和7年度DV防止啓発講演会 のいちふれあいセンターにサテライト会場を開設した。 日 時：令和7年11月8日（土） 演 題：それってラブラブ？ ～束縛は愛かそれともDVか～ 講 師：山口 のり子 氏（一般社団法人アウェア 代表理事） 受講者数：15名（一般：12名 職員：3名）		
		成果	・香南市企業等人権問題連絡協議会と連携した研修では、市職員と企業関係者が参加し、異なる視点が交流する場を提供できた。 ・研修や講演会を通じて、無意識の偏見や男女共同参画、DVに対する理解が深まった。特に、無意識の偏見に対する気づきが得られ、DVの深刻さへの認識が高まった。	
		課題	・1回の研修では意識改革が定着しにくいいため、継続的な学びとフォローアップを検討していく必要がある。 ・参加者において、一般市民や若年層の参加が少ないといった課題がある。	
	達成度	A：概ね達成できた B：達成には至らないが取組中 C：未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度計画内容	いきいきセミナーを始め、継続して講演会を開催し、参加者の意識向上を図る。			

取組の方向性		②メディアにおける男女共同参画の推進		
具体的な取組①		各課発行の市刊行物における人権・男女共同参画の視点に立った表現の普及を図ります。		
個 表 番 号 7	各課の取組	市が発行する刊行物において、男女共同参画の視点に立った表現の普及を図る。	課名	人権課
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 各課が刊行物を作成、発行する際は男女共同参画の視点に配慮した表現に努めるよう、職員用パソコンの掲示板に掲載していた、県ガイドライン「男女共同参画の視点に立った広報作成の手引き」～考えてみようその表現～を更新した。 広報誌の表現において、なぜその色なのか、なぜその性別なのか、といった校正を行った。 		
		成果	<ul style="list-style-type: none"> 毎年更新することで、広報活動における男女共同参画の意識向上が図れた。 読者にとって偏りなく伝わる表現にすることができた。 	
		課題	情報を伝える側として男女の多様なイメージが社会に浸透していくような表現を心がける必要があるため、手引きをもとに職員へ周知していく必要がある。	
	達成度	A：概ね達成できた B：達成には至らないが取り組み中 C：未実施		
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度 計画内容	県ガイドライン「男女共同参画の視点に立った広報作成の手引き」～考えてみようその表現～を継続して職員用パソコンの掲示板に更新を行う。			
具体的な取組②		市広報誌「こうなんNOW」編集の際、男女共同参画の視点に立った表現を心がけます。		
個 表 番 号 8	各課の取組	広報誌「こうなんNOW」編集の際、男女共同参画の視点に立った表現を心がける。	課名	総務課
	前年度 事業実績	広報誌「こうなんNOW」編集の際、男女共同参画の視点に立った表現を心がけた。		
		成果	記事によって男性・女性のイメージに偏らないよう、イラストや写真を使用する際に心がけができた。	
		課題	色彩において、まだ一般的には「青＝男性」「赤やピンク＝女性」といったイメージが根強い部分がある。	
	達成度	A：概ね達成できた B：達成には至らないが取り組み中 C：未実施		
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度 計画内容	継続して、男女共同参画の意識をもった表現に努める。			

推進方策	(2) さまざまな場での意識を変える		
取組の方向性	①家庭における男女共同参画の推進		
具体的な取組①	家庭におけるよりよいパートナーシップについての啓発を図るため、国の男女共同参画週間（毎年6月23～29日）、県の男女共同参画月間（毎年6月）や、講演会開催時に啓発冊子やリーフレットの配布等を行い、性別に関係なく家事や育児、介護への参加を促す取組を行います。		
個表番号 9	各課の取組	家庭におけるよりよいパートナーシップについての啓発を図る。	課名 人権課
	前年度 事業実績	○広報への掲載 広報6月号：国の男女共同参画週間及び県の男女共同参画月間にあわせて、広報誌のお知らせページに男女共同参画について掲載した。	
		○香南いきいきセミナー（男女共同参画） 日 時：令和7年10月5日（日） 演 題：子育てトークショー 講 師：つるの 剛士 氏（タレント） 受講者数：197名	
		成果	・広報6月号への掲載により、男女共同参画週間・月間にあわせた周知ができ、市民の関心喚起につながった。 ・特に、いきいきセミナーでは、著名人による「子育て」をテーマとした講演会を実施したことで、男女共同参画を身近な問題として捉える機会を提供できた。
	課題	・家庭の中で男女共同参画の意識が育まれるような取り組みを行う必要がある。 ・性別に関係なく家事や育児への参加を促す取り組みを行う必要がある。 ・人権課題が多くあるが故に、単発イベントで終わり、継続的な学びや実践につながる仕組みが不足している。	
達成度	①：概ね達成できた B：達成には至らないが取り組み中 C：未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度計画内容	広報誌やホームページなどで周知する際には、単なる周知にとどまらず、事例紹介や具体的な行動提案・数値などを盛り込みを検討し、理解促進を図る。		

具体的な取組②	保育所等において、「家庭の日」の推進や男性の子育てなど、家庭生活への参画を促進します。			
個表番号 10	各課の取組	毎月の園だよりで「家庭の日」の周知を行う。	課名 こども課	
	前年度 事業実績	園だよりで「家庭の日」の周知を行った。		
		成果	子どもや家庭から、家族で過ごしたことや一緒に食事をしたことなどの話を聞くことができた。「家庭の日」の意義についての理解につなげることができている。	
		課題	各家庭の具体的な取り組み内容を把握することは難しい。	
	達成度	①：概ね達成できた B：達成には至らないが取り組み中 C：未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度計画内容	園だよりで「家庭の日」の周知を継続的に行う。			

具体的な取組③	パパママ教室において、栄養士等の専門職による講話を実施するなど、妊婦や家族が、妊娠～出産～子育てについて具体的なイメージができ、不安や心配事の軽減、夫婦での子育てを促すための取組を行います。			
個表番号 11	各課の取組	パパママ教室を開催する。	課名 健康対策課	
	前年度 事業実績	事業内容：助産師・栄養士・保健師がスタッフとなり講話や体験を実施 講話内容：①妊娠期～授乳期の栄養 ②出産準備・産後の生活 ③妊娠中の身体の変化とお産に向けてのワンポイント ④沐浴・オムツ交換・抱っこ・妊婦の疑似体験 実施状況：定員14組/回で計6回（土日と平日）実施。教室日に参加できなかった希望者に関しては、教室日以外で、地区担当保健師や事業担当保健師が個別に対応。 参加者数：妊婦38名（うち第1子：37名）、夫31名（うち第1子：31名）、その他家族3名 総計：72名 ※個別対応分も含む		
		成果	・参加動機としては、「妊娠・出産についての知識の増加」「沐浴体験」「産後の育児についてイメージをつけたい」「赤ちゃんのお世話の仕方が知りたい」というものが多い。「夫婦で学びたい」「夫に知ってもらいたい」と思っている妊婦に対し、本事業はニーズを満たせていると考える。 ・体験を参加目的としている参加者が多いため、講話と体験のバランスを検討する必要があり、沐浴体験などの体験時間を十分に確保できるように時間配分を見直した。また、出産に向けての妊婦体操などの実践をマタニティ教室では実施。	
		課題	育児への不安や心配事を軽減するために、妊婦やその家族同士が地域の中でつながりを持って育児をしていけるように事業を継続する必要がある。	
	達成度	①：概ね達成できた B：達成には至らないが取り組み中 C：未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度計画内容	・働く妊婦らも参加しやすいよう平日は午後開催、土日の開催を引き続き行う。 ・目的別に参加できるパパママ教室とマタニティ教室を継続して実施し、マタニティ教室へも家族（夫や実母）が参加できるように対象者を変更。			

取組の方向性		②学びの場での男女共同参画教育の推進			
具体的な取組①		親子参加型の学習会や子育てに関する講演会を継続して実施します。			
個表番号 12	各課の取組	就学前の保護者に対する子育て・親育て講演会を実施する。	課名	こども課	
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 親子参加型の学習会や子育てに関する講演会を市内保育所・幼稚園・こども園・子育て支援センター「にこなん」で延べ18回実施し、合計344人の参加があった。 総合子育て支援センター「にこなん」で、育児講座を43回実施し、親子1,841人の参加があった。 			
		成果	<ul style="list-style-type: none"> にこなんが企画した講演会は、子育て家庭の悩みを解消し、普段の子どもとの関わり方を考えるきっかけへとつなげることができた。 各所園で実施した学習会は、地域の子どもや家庭の実態に沿った内容で実施し、細やかな子育て支援につなげることができた。 		
		課題	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の参加数を増やせるよう、子育ての悩みなど、関心の高い内容を調査する必要がある。 保護者の参加しやすい日程を検討するとともに、母親の参加が多い現状を踏まえ、父親や夫婦での参加を促していく取り組みの必要がある。 		
	達成度	④:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施			
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度 計画内容	保護者や講演会等実施後のアンケート等の意見を参考に、より参加しやすい学習会や講演会の内容・開催時期を検討し、実施する。				

具体的な取組②		児童生徒の発達段階や実態に応じて、学習指導要領に沿った男女共同参画に関する指導や性教育などを計画的に行います。			
個表番号 13	各課の取組	固定的な性別役割分担意識にとらわれない男女の人権を尊重する教育を推進する。	課名	学校教育課	
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ○学校現場において、固定的な性別役割分担意識を解消し、多様性を尊重する土壌を作るため、以下の活動を行った。 ・学習指導の計画的実施…学習指導要領に基づき、各教科や学級活動の中で男女共同参画や性教育を計画的に実施。 ・環境のアップデート…性別で分けない「男女混合名簿」の継続や、ジェンダーレス制服の導入、校則の見直し等を推進。 ・多様性への理解促進…性的指向・性自認(LGBTQ+等)に関する教育や、啓発ポスターの掲示、PTA親子講演会など、学校・家庭・地域の連携を図った。 ・計画のブラッシュアップ…各校の「年間指導計画」を点検し、個別の人権課題を意識的に取り扱えるよう改善を図った。 			
		成果	<ul style="list-style-type: none"> 【環境の標準化】市内全小中学校で男女混合名簿が100%定着し、性別による区別を設けない教育基盤が整った。 【生徒主体の参画】中学校で「生徒会がアンケートを基に制服改定を提案・採用」されるなど、生徒自身が多様性を考える成功事例が生まれた。 【小学校での意識強化】小学校において「女性の人権」を扱う授業研究の実施校が、0校から4校(57.1%)へ大幅に増加した。 【計画の見直し】令和7年度中に、各校で「年間指導計画」の見直しを実施。個別の人権課題を授業に組み込む準備を整えた。 		
		課題	<ul style="list-style-type: none"> 【環境の標準化に関連する今後の課題】名簿や制服といった「形」は整ったが、人権意識という「中身」を深める授業や研修が、単発的・属人的になりがちである。 【生徒主体の参画に関連する今後の課題】生徒の主体性は育っているが、中学校での「女性の人権」をテーマにした授業や研修が令和8年度は0件になるなど、年度や担当者によって実施状況に差がある。 【小学校での意識強化に関連する今後の課題】小学校での積極的な学びが、中学校進学後も継続・発展するよう一貫したカリキュラム構成がまだ不十分である。 【計画の実践(R8)】新しくなった指導計画を、いかに形骸化させず、実際の授業や校内研修として「組織的」に実行できるかが鍵となる。 		
	達成度	④:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施			
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度 計画内容	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度に改善した年間指導計画を実効性のあるものへと進化させる。 ・年間指導計画の確実な実行…改善した計画に基づき、「女性の人権」や「性別役割分担」の視点を含めた学習を、学級活動や道徳、教科の中で組織的に実施する。人権課題の見える化(常に意識できる工夫・共有) ・中学校における研修・授業の再活性化…昨年度実施が低迷した中学校に対し、指導計画に沿った具体的な実践事例(ワークショップ形式など)を共有し、実施を支援する。生徒会が取り組んだ制服見直しのプロセスを、他学年の社会科や道徳科の教材として活用し、身近な先輩の活動を題材にすることで、抽象的な人権課題を「自分たちの生活を変える力」として実感させる。 ・「環境」から「学び」への深化…混合名簿や制服改定の意義を改めて生徒・教員で共有し、「なぜこのルールになったのか」という人権の視点を学びの核に据える。 				

具体的な取組③		各中学校での思春期講演会など、専門職による性教育を行います。		
個表番号 14	各課の取組	各中学校で思春期保健事業を実施する。	課名 健康対策課	
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 各中学校3年生（4校・対象 256人）で思春期保健事業を実施した。 内容/目的： 思春期のこころの健康教育により、複雑な心の変化や自己肯定感の低下から起こりうるトラブル（妊娠、性感感染、いじめ、不登校、自殺、性被害・加害等）の予防につなげる 小学校からの依頼により物品（沐浴人形、妊婦疑似体験シミュレーター、胎児人形）の貸し出し及び授業への参加を実施した。 		
		成果	<p>事件事後のアンケートにより母子保健指標の評価および全体の傾向、また回答内容から個別指導が必要と思われる生徒を抽出（27人）し、見守りや面談等学校での支援につなげることができた。</p> <p>（母子保健指標）</p> <p>自尊感情を高めることができる割合 94.5%（指標50%↑） 相談先を知っている割合67.9%（50%↑） 困った時に相談しようと思う割合 72.1%（70%↑） 睡眠で休養が取れている割合 83.0%（70%↑）</p>	
		課題	<p>全ての指標で目標値を達成。自尊感情を高める割合は質問内容を変更したことで大幅に増加した可能性あり。相談先を知っている割合が減少。思春期授業で事件事後のアンケートを実施。アンケート結果を利用した有意義な情報交換が教師と保健師の間で実施できた。</p>	
		達成度	<p>Ⓐ:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施</p>	
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	<ul style="list-style-type: none"> 目的/内容等を学校と再確認しながら、生徒の現状/課題も含めて共通認識をしたうえで事業を進める。 相談先や相談行動の取り方も強化して伝えていく。 生徒の理解がより進むよう、相談行動のとり方をロールプレイできるワークを入れたり、保健師のみでなく教諭と役割分担しながら授業を進める。 			

取組の方向性		③働く場での意識啓発			
具体的な取組①		講演会開催時のハラスメント防止に関するリーフレットや啓発冊子の配布、企業等において、ハラスメントを防止する研修会などを実施します。			
個 表 番 号 15	各課の取組	企業などにおいてハラスメントを防止する研修会などを推進する。	課名	人権課	
	前年度 事業実績	○広報誌への掲載 広報5月号：「職場の人権」と題し、ハラスメント問題、特定の人に対する偏見や差別、長時間労働の問題について掲載した。 ○アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）について、香南市企業等人権問題連絡協議会と連携して研修を実施した。 ・総会後の研修 日 時：令和7年6月26日（金） 演 題：アンコンシャス・バイアス ～気づきを行動へ～ 講 師：中村 智砂 氏（こうち男女共同参画社会づくり財団） 受講者数：25名（加盟企業：9名 市職員：16名）			
		成果	・ 広報誌において、「職場の人権」といった身近な課題を取り上げたことで、職員や市民、企業に対する人権意識の啓発ができた。 ・ アンコンシャス・バイアス研修の実施により、無意識の偏見が職場に与える影響について理解を深め、「気づき」を得る機会を提供できた。		
		課題	研修参加者（加盟企業）のうちほとんど役員の方々と限定的であり、加盟企業全体への波及が十分とは言えない。		
	達成度	④:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施			
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	・ 香南市企業等人権問題連絡協議会（企人協）と連携し、企人協総会時などに研修会を開催する。 ・ 広報誌において、引き続き人権に関する特集を掲載するとともに、具体的な事例紹介やセルフチェック等を取り入れを検討し、読者の理解と行動につながる内容の充実を図る。				
個 表 番 号 16	各課の取組	イベントにおいてハラスメントに関する啓発活動を推進する。	課名	人権課	
	前年度 事業実績	ハラスメント防止に関するリーフレットや啓発冊子を配布することはできなかったが、ソーレ主催のDV防止啓発講演会をサテライト開催した時に、香南市男女共同参画基本計画（概要版）を配布した。			
		成果	啓発活動が実施できなかったため、特に成果はみられなかった。		
		課題	ハラスメントの種類は多岐に渡るため、リーフレットや啓発冊子の選定が難しい。		
	達成度	A：概ね達成できた B：達成には至らないが取り組み中 C：未実施			
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	ソーレ主催のDV防止啓発講演会をサテライト開催した時に、ハラスメント防止に関するリーフレットや啓発冊子の配布する。				
具体的な取組②		企業訪問時に、働きやすい職場の環境づくりを推進するよう取り組みます。			
個 表 番 号 17	各課の取組	企業訪問時に、働きやすい職場の環境づくりの推進に向けて働きかけを行う。	課名	商工観光課	
	前年度 事業実績	企業訪問時にチラシを配布するなど、働きやすい職場の環境づくりの推進に向けて働きかけた。 市ホームページに高知県ワークライフバランス推進企業認証制度について掲載した。			
		成果	・ 企業経営者に働きかけることで、ハラスメントの予防、防止への意識を高めることができた。 ・ 本市における高知県ワークライフバランス推進企業認証取得件数（14件）		
		課題	小規模事業者等は取り組みが難しい場合がある。（職場内でのワークライフバランス研修の実施等）		
	達成度	④:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施			
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	企業訪問時等の機会を通じて働きやすい職場の環境づくりを推進するよう継続して取り組む。				

推進方策		(3) あらゆる暴力を根絶する【DV防止基本計画】		
取組の方向性①		暴力を許さない意識の醸成		
具体的な取組①		暴力根絶のための広報啓発活動として、学校での人権教育や各種イベント会場でのパネル展示、市広報誌への啓発記事の掲載など、暴力を許さないまちとして市民意識を高めます。 また、児童虐待や高齢者、障害のある人などに対する虐待の根絶に向けた周知啓発と、これらの虐待を発見したときは、速やかに市や児童相談所などへ通告しなければならないことも周知します。		
個表番号 18	各課の取組	暴力根絶のため人権啓発フェスティバル、人権週間に合わせて啓発パネルの展示や冊子の配布を行う。	課名	人権課
	前年度事業実績	市役所のトイレに「DV相談ナビ」やDV加害者側の相談窓口を記載したミニパンフレットを設置した。		
		成果	<ul style="list-style-type: none"> 市役所のトイレという人目を気にせず情報に触れられる場所に設置したことで、DV被害者が安心して相談窓口の情報を得られる環境を整備することができた。 来庁者に対してDVに関する認知度向上・啓発効果が期待できる取組みができた。 	
		課題	実際にパンフレットなどがどのくらい利用され、どのくらい効果があったのかが把握できない。	
	達成度	①：概ね達成できた B：達成には至らないが取り組み中 C：未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度計画内容	冊子の配布や設置などを継続して行い、啓発パネルの展示については検討する。			
個表番号 19	各課の取組	児童虐待及び通告に関する周知啓発に取り組む。	課名	福祉事務所
	前年度事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 4月に保幼小の全保護者に相談窓口等のチラシ配布を行った。 11月とR8年1月の広報に児童虐待や児童への関わり方、地域の子育て相談の窓口を誌掲。11月の児童虐待防止推進月間に合わせて全保幼小中学校に相談窓口の啓発グッズや冊子など配布。 		
		成果	児童本人、保護者からの相談は25件あり、必要な支援や相談機関につなげることができた。	
		課題	虐待の根絶に向け周知徹底していく必要がある。	
	達成度	①：概ね達成できた B：達成には至らないが取り組み中 C：未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度計画内容	<ul style="list-style-type: none"> こども家庭センターにおいて妊産婦、子育て家庭、子どもからの相談等に母子保健と児童福祉が一体となって対応を行う。 こども家庭センターの役割や機能他の啓発を通して、虐待の予防的な対応や相談通告についての周知を行う。 			
具体的な取組②		デートDV防止活動として、各種イベント会場でのパネル展示や市広報誌への啓発記事掲載などを行います。 また、ストーカーやハラスメント防止に関する啓発活動、各種イベント会場でのパネル展示による啓発や研修なども行います。		
個表番号 20	各課の取組	デートDV防止活動として、広報誌への啓発記事掲載などを行う。また、城山高校の生徒に対しDV防止冊子「それってラブラブ？」を配付する。	課名	人権課
	前年度事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 県立城山高等学校の1年生と教員に啓発冊子「それってラブラブ…？」の配布を行った。 香南市人権啓発フェスティバルにおいて、人権啓発漫画パネルの展示を行った。 		
		成果	学生に親しんでもらいやすいイラストで構成された冊子で、デートDVについて学んでもらうことができた。	
		課題	若年層等に対して、デートDVをはじめとするDV防止に向け、継続して学ぶ機会を作っていく必要がある。	
	達成度	①：概ね達成できた B：達成には至らないが取り組み中 C：未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度計画内容	<ul style="list-style-type: none"> 広報4月号：「デートDVについて」の記事を掲載し、若年層を中心にDVに関する正しい理解の促進を図る。 引き続き、県立城山高等学校の1年生と教員に啓発冊子「それってラブラブ…？」を配布する。 香南ケーブルテレビに「デートDV」に関する映像の放送を依頼する。 			

取組の方向性		②DVやハラスメント相談・支援体制の充実		
具体的な取組①		DV被害者の保護及び自立支援に向けて、被害者の安全確保や緊急回避支援策の充実、相談支援体制の充実を図ります。		
個 表 番 号 21	各課の取組	研修会等に積極的に参加して職員のスキルアップを図り、相談支援の充実に取り組む。	課名	人権課
	前年度 事業実績	○市役所や関係施設等のトイレにDV相談窓口カードを設置した。 ○ソーレ主催 令和7年度DV防止啓発講演会 のいちふれあいセンターにサテライト会場開設 日 時：令和7年11月8日（土） 演 題：それってラブラブ？ ～束縛は愛かそれともDVか～ 講 師：山口のり子 氏（一般社団法人アウェア 代表理事） 受講者数：15名（一般：12名 職員：3名）		
		成果	・来庁者に対して、DV被害者だけでなく、加害者側の相談窓口も含めて周知することができた。 ・サテライト会場の設置により、会場に生きづらい市民にも参加の機会を提供することができ、専門的かつ実践的な知識の普及が図れた。	
		課題	・DV相談窓口カードの設置による啓発はできたが、その効果（相談件数の増減など）を視覚的に見えにくい。 ・職員の参加（人権課以外）がなく、職員のスキルアップが図れたとは言えず、周知方法を改める必要がある。	
		達成度	A：概ね達成できた ⑥：達成には至らないが取り組み中 C：未実施	
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度計画内容	・ソーレとの連携を継続し、サテライト会場開設を行う。 ・DV相談窓口カードの設置を継続し、情報発信と啓発を行う。また、効果の有無を調査するためアンケート等の活用を検討する。			
個 表 番 号 22	各課の取組	児童相談所や女性相談支援センター、警察など関係機関と連携を取りながら被害者からの相談、保護に取り組む。	課名	福祉事務所
	前年度 事業実績	保護や支援の必要と思われる児童がいる家庭については、女性相談支援センターや母子生活支援施設、児童相談所、警察と連携し支援を行った。		
		成果	・関係機関との連携により安全確保を行うことができた。 ・被害者の自立に向け、関係機関との連携強化を図ることができた。	
		課題	今後もスムーズな対応が行えるよう連携を行う必要がある。	
		達成度	④：概ね達成できた B：達成には至らないが取り組み中 C：未実施	
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度計画内容	児童相談所や女性相談支援センター、警察など関係機関と連携を取りながら被害者からの相談、保護に取り組む。			
個 表 番 号 23	各課の取組	被害者の自立に向け、関係課や警察、女性相談支援センター、児童相談所など関係機関と連携を図り支援する。	課名	人権課
	前年度 事業実績	支援が必要となった際に警察、女性相談支援センター、児童相談所などの関係機関との連携について確認した。		
		成果	関係課や関係機関と連携し、被害者の自立に向けた支援体制を図ることができた。	
		課題	支援ケースに応じて、体制の運用を確認する必要がある。	
		達成度	④：概ね達成できた B：達成には至らないが取り組み中 C：未実施	
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度計画内容	関係機関の役割分担を再確認し、支援が発生した際には対応ができるようにする。			

具体的な取組②		庁内での連携及びこうち男女共同参画センター「ソーレ」や女性相談支援センター、警察、母子生活支援施設などの関係機関との連携による支援体制を整備するとともに、DV被害者の状況に応じた相談支援を行えるよう、県または近隣自治体と連携した、支援体制を構築します。			
個 表 番 号 24	各課の取組	関係課や女性相談支援センター、警察など関係機関と連携を密にし、支援の充実を図る。	課名	人権課	
	前年度 事業実績	高齢者虐待に関する相談が1件あった。			
		成果	<ul style="list-style-type: none"> 相談者からの高齢者虐待に関する相談に対し、関係課とともに丁寧な聞き取りを実施し、状況把握を行うことができた。 適切な情報提供（対応方法等）を行い、相談者の不安軽減につなげた。 結果として大きな問題化には至らず、解決に結びつけることができた。 		
		課題	潜在的なDV事案が十分に把握できていない可能性がある。		
		達成度	①：概ね達成できた B：達成には至らないが取り組み中 C：未実施		
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	<ul style="list-style-type: none"> 早期発見、通報につながるよう地域住民や関係機関への周知を継続して行う。 被害者の自立に向け、関係課や関係機関と連携を図り、支援する。 				
具体的な取組③		職場内におけるハラスメントや職員の心身の健康についての相談体制の充実を図ります。			
個 表 番 号 25	各課の取組	職場のトラブル（解雇、パワハラなど）の無料労働相談会などの開催について広報誌に掲載する。	課名	商工観光課	
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 職場のトラブル（解雇、パワハラ、残業代の未払いなど）の無料労働相談会の開催について広報誌9月号へ掲載した。 企業訪問時に働きやすい職場の環境づくりを推進するよう働きかけた。 			
		成果	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌等で情報提供ができた。 企業経営者に働きかけることで、社内における相談体制の充実について意識を高めることができた。 		
		課題	企業の規模により、職場内での相談体制を充実させることが難しい場合がある。		
		達成度	①：概ね達成できた B：達成には至らないが取り組み中 C：未実施		
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	企業訪問や関係機関などと連携を取りながら、引き続き周知を図る。				
個 表 番 号 26	各課の取組	ハラスメント防止研修の実施及び相談体制の充実を図る。	課名	総務課	
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 組織内部の相談窓口を人事異動に伴い更新し、ハラスメント防止対策ガイドブックを作成し、周知している。 組織外部の相談窓口を設置し、相談の窓口を拡大（ハラスメントに関する相談実績0件） 全職員を対象に職場のハラスメント防止研修を実施（7月に4回実施し、101名の職員が参加） 			
		成果	ハラスメント相談窓口の拡大や職員研修によりハラスメントへの関心と理解を深めることができた。		
		課題	引き続き、内部、外部の相談窓口を継続し、相談体制の充実を図る。		
		達成度	①：概ね達成できた B：達成には至らないが取り組み中 C：未実施		
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	全ての職員がハラスメントを正しく理解するよう研修、啓発を行い、事案を見逃さないよう相談、通報窓口を組織内部のみならず外部にも設け、ハラスメントのない職場づくりに努めていく。				

具体的な取組④		こどもに対する暴力・虐待の防止に向けて、要保護児童対策地域協議会の連携強化に努めるとともに、代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会などを積極的に開催します。また、保護や支援が必要と思われる児童がいる家庭については、児童相談所や警察などと連携し支援します。			
個表番号 27	各課の取組	香南市要保護児童対策地域協議会において、関係機関との連携や支援の充実を図る。	課名	福祉事務所	
	前年度事業実績	代表者会議（年1回5月）、実務者会議（年3回、6月・10月・2月）を開催。また個別ケース検討会議においては、関係機関と情報や課題及び支援の共有を行い、連携した支援を行うことができた。			
		成果	香南市要保護児童対策地域協議会の各会議において、関係機関の役割やケースの情報共有を行い、連携しながら早期発見、早期対応に努めることができた。		
		課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題が複雑なケースが多くなっており、調整機関としての役割が問われている。 ・ 対応する職員のスキルアップしていく必要がある。 ・ 地域からの情報提供などにより、早期発見し、支援する必要がある。 		
	達成度	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施			
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要保護児童対策地域協議会における、登録ケースの支援の評価や見直しを行い、児童虐待の予防や再発防止に努める。 ・ 実務者会議での協議の充実や個別ケース検討会議を積極的に開催し、関係機関との連携や支援の充実を図る。 				

基本目標		2 男女がともに活躍する環境づくり【女性活躍推進基本計画】		
推進方策	(1) 働く場における女性活躍を推進する			
取組の方向性	①多様なニーズに応じた就労支援			
具体的な取組①	女性の就職に対する支援として、市役所や各市民館などにおける求人情報の設置、企業の説明会や面接会の開催による女性の就職につながる支援を行います。			
個表番号 28	各課の取組	ハローワークの求人情報の提供及び市民館の相談支援での女性の就職に対する支援を行う。	課名	人権課
	前年度 事業実績	○求人情報の提供 就職に向けて、ハローワーク香美から提供される求人情報を印刷し、本庁2階情報コーナーや各市民館カウンターに設置して、地域住民への情報提供に取り組んだ。		
		成果	ハローワーク香美の求人情報を定期的に提供し、本庁や市民館の情報コーナーで住民が手軽にアクセスできる体制を整備し、就職活動に必要な情報の周知を図ることができた。	
		課題	継続的な情報提供によって、どのくらい就労につながったのかまでを把握することが難しい。	
	達成度	④：概ね達成できた B：達成には至らないが取り組み中 C：未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	・引き続き、求人情報の提供を行いながら、就職を希望する女性等に対する相談支援を行う ・必要に応じて、関係課や関係機関を案内する。			
個表番号 29	各課の取組	就職に関する情報提供を行うとともに企業説明会や面接会を開催し、女性の就職につなげる。	課名	商工観光課
	前年度 事業実績	・広報誌4、9、12、3月号にオフィススキルなどの職業訓練について掲載した。 ・高知県立地企業合同企業説明会について、ホームページ、香南ケーブルテレビや広報誌8月号にて周知を行い、9月3日にふれあいセンターで実施した。		
		成果	企業説明会や面接会への女性の参加につなげることができた。	
		課題	情報提供したことや、企業説明会や面接会に参加した女性が、どの程度就職につながっているか把握しづらい。	
	達成度	④：概ね達成できた B：達成には至らないが取り組み中 C：未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	関係機関と連携を取りながら情報提供を行うとともに、立地企業の説明会や面接会を開催し、女性の就職につなげる。			
取組の方向性	②女性の再就職支援、起業支援			
具体的な取組①	ハローワーク等の関係機関と連携し、再就職に関する企業情報及び再就職を支援するための技術や知識の習得を目的とした講座の開催情報の提供に努めます。			
個表番号 30	各課の取組	ハローワークの求人情報の提供及び市民館の相談支援での女性の再就職に対する支援を行う。	課名	人権課
	前年度 事業実績	○求人情報の提供 就職に向けて、ハローワーク香美から提供される求人情報を印刷し、本庁2階情報コーナーや各市民館カウンターに設置して、地域住民への情報提供に取り組んだ。		
		成果	ハローワーク香美の求人情報を定期的に提供し、本庁や市民館の情報コーナーで住民が手軽にアクセスできる体制を整備し、就職活動に比津町な情報の周知を図ることができた。	
		課題	継続的な情報提供によって、どのくらい就労につながったのかまでを把握することが難しい。	
	達成度	④：概ね達成できた B：達成には至らないが取り組み中 C：未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	・引き続き、求人情報の提供を行いながら、再就職を希望する女性等に対する相談支援を行う。 ・必要に応じて、関係課や関係機関を案内する。			

個 表 番 号 31	各課の取組	関係機関と連携し、再就職に関する企業情報及び再就職支援イベントの情報発信を行う。		課名	商工観光課
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌4、9、12、3月号にオフィススキルなどの職業訓練について掲載した。 ・ 高知県立地企業合同企業説明会について、ホームページ、香南ケーブルテレビや広報誌8月号にて周知を行い、9月3日にふれあいセンターで実施した。 			
		成果	企業説明会や面接会への女性の参加につなげることができた。 本市会場への参加者26人（内女性：10人）		
		課題	情報提供したことや、企業説明会や面接会に参加した女性が、どの程度再就職につながっているか把握しづらい。		
	達成度	④:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施			
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度計画内容	関係機関と連携を取りながら情報提供を行うとともに、立地企業の説明会や面接会を開催し、女性の再就職につなげる。				

取組の方向性	③職場における男女の均等な雇用機会と待遇の確保				
具体的な取組①	市広報誌等へ「男女雇用機会均等法」や「働く女性の母性健康管理措置、母性保護規定」、「女性活躍推進法」をはじめとする雇用・労働の法制度などに関する記事を掲載します。				
個 表 番 号 32	各課の取組	(再掲) 職場のトラブル（解雇、パワハラなど）の無料労働相談会などの開催について広報誌に掲載する。		課名	商工観光課
	前年度 事業実績	職場のトラブル（解雇、パワハラ、残業代の未払いなど）の無料労働相談会の開催について広報誌9月号へ掲載した。			
		成果	無料相談や制度について、広報誌に掲載することで、周知を図ることができた。		
		課題	より効果的な広報活動や取組の検討が必要である。		
	達成度	④:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施			
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度計画内容	関係機関と連携を図り情報を発信する。				

具体的な取組②	企業訪問時や企業交流会などの機会を通じて、企業経営者に対し、女性活躍の重要性や職場の環境整備・改善について意識を高めます。				
個 表 番 号 33	各課の取組	企業訪問時や企業交流会等の機会を通じて、働きやすい職場環境づくりの啓発に取り組む。		課名	商工観光課
	前年度 事業実績	企業訪問時に、働きやすい職場の環境づくりを推進するよう働きかけた。 市ホームページに高知県ワークライフバランス推進企業認証制度について掲載した。			
		成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業経営者に働きかけることで、ハラスメントの予防、防止への意識を高めることができた。 ・ 本市における高知県ワークライフバランス推進企業認証取得件数（14件） 		
		課題	より効果的な広報活動や取組の検討が必要である。		
	達成度	④:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施			
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度計画内容	企業訪問時や企業交流会等の機会を通じて、継続して取り組む。				

推進方策	(2) 意思決定の場への女性参画を促進する			
取組の方向性	①各委員会等への女性の参画促進			
具体的な取組①	所管する各審議会・委員会における女性委員の登用割合を30%になるよう推進します。また、委員等の構成に男女の偏りが出ないように取り組みます。			
個表番号 34	各課の取組	所管する各審議会・委員会における女性委員の登用割合を30%になるよう推進する。	課名 人権課	
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法（第180条の5）に基づく委員会などの女性登用に努めた。 教育委員・・・・・・・・・・ 2/4 50.0% 選挙管理委員・・・・・・・・ 3/4 75.0% 監査委員・・・・・・・・・・ 1/3 33.3% 農業委員・・・・・・・・・・ 2/19 10.5% 固定資産評価審査委員・・・・ 1/4 25.0% ・ 地方自治法（第202条の3）に基づく審議会などの女性登用に努めた。 香南市まち・ひと・しごと 創生総合戦略策定委員会・・・・ 8/15 53.3% 防災会議・・・・・・・・・・ 4/40 10.0% 民生委員推薦会・・・・・・ 3/10 30.0% 国民健康保険運営協議会・・・・ 3/12 25.0% 介護認定審査会・・・・・・・・ 11/23 47.8% 社会教育委員会・・・・・・ 4/15 26.7% スポーツ推進審議会・・・・・・ 1/14 7.1% 図書館協議会・・・・・・・・ 7/10 70.0% 文化財保護審議会・・・・・・ 1/10 10.0% 都市計画審議会・・・・・・・・ 1/10 10.0% 国民保護協議会・・・・・・ 6/30 20.0% 香南香美地区障害者自立支援審査会・・・ 3/7 42.9% 特別職報酬等審議会・・・・・・ 0/5 0.0% 情報公開審査会・・・・・・ 1/5 20.0% 個人情報保護審査会・・・・・・ 1/5 20.0% 地域公共交通会議・・・・・・ 4/20 20.0% 広報編集委員会・・・・・・ 3/4 75.0% 土地環境保全審議会・・・・・・ 2/11 18.2% 地域包括支援センター運営協議会・・・・ 9/15 60.3% 地域密着型サービス運営委員会・・・・ 9/15 60.3% ポータルピア土佐運営安全対策委員会・・・・ 4/20 20.0% 「ポータルピア土佐」環境整備費運用委員会 0/8 0% 給食センター運営委員会・・・・ 6/14 42.9% 補導センター運営委員会・・・・ 2/12 16.7% 香南市公民館運営委員会・・・・ 4/13 30.8% 生涯学習施設運営審議会・・・・ 4/15 26.7% 水道審議会・・・・・・・・・・ 3/10 30.0% 下水道審議会・・・・・・ 5/10 50.0% 赤岡市民館運営審議会・・・・・・ 7/14 50.0% 吉川市民館運営審議会・・・・・・ 2/10 20.0% 大型共同作業場運営審議会・・・・ 3/9 33.3% 市営住宅入居者選考委員会・・・・ 6/11 54.5% 子ども・子育て会議・・・・・・ 11/19 57.9% 行政改革推進委員会・・・・・・ 3/11 27.3% ・ 人権課が所管する設置要綱に基づく審議会 人権教育・啓発推進審議会・・・・ 8/14 57.1% 男女共同参画推進審議会・・・・ 7/12 58.3% 		
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標を達成した委員会等の数の推移 (令和元年・令和4年度)・・・16委員会 (令和2・3・5・6年度)・・・17委員会 (令和7年度)・・・・・・・・・・19委員会 ・ 地方自治法（第180条の5）に基づく委員会などの女性登用数と割合の推移。 (令和元・2年度)・・・・ 6/35 17.1% (令和3年度)・・・・・・ 7/35 20.0% (令和4年度)・・・・・・ 10/35 28.5% (令和5・6年度)・・・・ 9/35 25.7% (令和7年度)・・・・・・ 9/34 26.5% ・ 地方自治法（第202条の3）に基づく審議会などの女性登用数と割合の推移。 (令和元年度)・・・・・・ 117/419 27.9% (令和2年度)・・・・・・ 120/405 29.6% (令和3年度)・・・・・・ 119/402 29.6% (令和4年度)・・・・・・ 137/469 29.2% (令和5年度)・・・・・・ 141/477 29.6% (令和6年度)・・・・・・ 134/431 31.1% (令和7年度)・・・・・・ 141/452 31.2% <p>※人権教育・啓発推進審議会、男女共同参画推進審議会は含まない。</p>		
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性登用の割合は少しずつ増加しているが、非常に緩やかで、目標達成に向けて積極的な取組みが求められる。 ・ 以前からの課題でもあるが、委員会などを構成する委員が充て職の場合、各団体の代表者が男性であることも多く、女性委員の登用率向上に繋がりにくい。 		
	達成度	A:概ね達成できた ⑥:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度計画内容	令和8年度が委員の改選になっている審議会・委員会に対して、女性委員の登用割合が30%になるよう、推進する。			

推進方策		(3) ワーク・ライフ・バランスを実現する		
取組の方向性		①ワーク・ライフ・バランスの理解促進		
具体的な取組①		「香南市特定事業主行動計画」に基づき出産・子育てのしやすい、ワーク・ライフ・バランスを実現できる職場環境の形成等に取り組みます。		
個表番号 35	各課の取組	「香南市特定事業主行動計画」に基づき出産・子育てのしやすい、ワーク・ライフ・バランスを実現できる職場環境の形成等に取り組みます。		課名 総務課
	前年度 事業実績	・勤務形態の見直しとして時差出勤を継続して行った。利用者：1名 ・子育て支援のための育児短時間勤務制度等を実施した。利用者：4名		
		成果	仕事と生活（子育て）の両立支援に係る制度の改正について、子の看護休暇の対象となる子の範囲や取得事由を拡充し、子の看護等休暇とするなど、国に併せて制度改正を行い環境整備を図った。	
		課題	仕事と生活（子育て）の両立支援に係る制度について周知利用促進を図っているが、部分休業では給料が減額となることや所属において休業部分の業務の割振りを行う必要がある。	
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度 計画内容	育児短時間勤務制度だけでなく、拡充された子の看護等休暇制度など、仕事と生活（子育て）の両立支援に係る制度についての周知を継続して行い、子育てしやすいワークライフバランスの実現に向け取組を行う。			
新規	各課の取組	「香南市特定事業主行動計画」に基づき出産・子育てのしやすい、ワーク・ライフ・バランスを実現できる職場環境の形成等に取り組みます。		課名 総務課
個表番号 36	前年度 事業実績	・令和6年度育児休業取得職員(新規取得者) … 男性：10人(66.6%) 女性：8人(100%) ・令和6年度出産補助休暇取得職員 … 対象者：15人 取得者 8人		
		成果	男性職員の取得率は66.6%と職員個人の取得意識向上と所属長からの取得勧奨によって取得率向上が図れた。	
		課題	出産に係る休暇及び育児休業制度について、職員への周知が十分とはいえない状況にある。情報発信の機会及び内容の充実を図るとともに、個別の意向確認等を通じて制度の理解促進を図り、男性職員を含めた更なる取得意識向上につなげる必要がある。	
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度 計画内容	男性の2週間以上の休業取得率を80%、出産補助休暇取得率を100%達成できるよう取得促進に努める。			
取組の方向性		②子育て・介護支援の充実		
具体的な取組①		介護サービスや福祉サービスなど支援の充実を図ります。		
個表番号 37	各課の取組	介護サービスなど支援の充実を図る。		課名 高齢者介護課
	前年度 事業実績	・市民税非課税の要支援・要介護認定者で、独力での通院が困難な方に対して、在宅生活の支援及び支援者の負担軽減を目的に、通院時のタクシー代等の助成を行っている。 ・要介護3～5の認定を受けている市民税非課税世帯の高齢者を月に15日以上在宅で介護している市民税非課税世帯の介護者に対して、在宅介護手当を支給している。		
		成果	・医療機関送迎サービス：R7年度末利用者数（登録者）167人 うちR7年度新規 38人 ・在宅介護手当：令和7年度末利用者数 42人	
		課題	介護保険事業計画策定に伴い事業見直しが必要。	
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	引継ぎ事業の周知をおこないながら、合わせて事業見直しを行う。			

個表番号 38	各課の取組	障害者・障害児福祉サービスなど支援の充実を図る。	課名	福祉事務所	
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者自立支援給付及び障害児通所支援サービスを円滑に利用できるよう支援を行うことができた。 ・地域生活支援事業の日常生活用具のストマ用具について、補助基準額の見直しを行った。 			
		成果	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者自立支援給付及び障害児通所支援サービスについて地域の支援機関と連携し、支援を行うことができた。 ・地域生活支援事業の日常生活用具のストマ用具について、補助基準額の見直しを行った。 (1ヶ月あたり蓄便袋：8,858円→9,460円、蓄尿袋：11,639円→12,430円) 		
		課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の相談支援専門員が不足しているため、担い手の養成や地域の支援機関との連携を行い利用者のサービス利用に支障が出ないよう協議を行っていく必要がある。 ・地域生活支援事業の移動支援事業について支援の充実を図るため、地域の実情に応じた対象者となるよう見直しが必要である。 		
	達成度	①：概ね達成できた ②：達成には至らないが取り組み中 ③：未実施			
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度 計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者自立支援給付・障害児通所支援サービスを適切に提供できる体制を継続するために、地域における課題等について障害者自立支援協議会等で検討する。 ・地域生活支援事業の移動支援事業について、近隣市町村、ニーズ調査を行い対象要件の見直しを検討する。 				

具体的な取組②		子育てに関する相談や交流の場の提供及び子育て関連の情報を提供します。			
個表番号 39	各課の取組	子育てに関する相談や交流の場の提供及び子育て関連の情報を提供する。	課名	こども課	
	前年度 事業実績	<p>【地域子育て支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○香南市総合子育て支援センター「にこなん」(平日9時～16時、土曜日9時～11時30分) ひろば実施日数：290日 参加保護者数：7,343人 参加児童数：7,843人 相談件数：344件 講習(育児学級)などの実施日数：43回 1,841人参加 ○出張ひろば(月曜日：野市東、火曜日：香我美、木曜日：夜須、いずれも9時～12時開設) ①野市東こども園子育て支援センター(おひさまひろば) 実施日数：36日 参加保護者数：135人 参加児童数：156人 ②香我美おれんじ保育所子育て支援センター(あのねひろば) 実施日数：43日 参加保護者数：83人 参加児童数：90人 ③夜須こども園子育て支援センター(すくすくひろば) 実施日数：41日 参加保護者数：111人 参加児童数：120人 <p>【ファミリーサポートセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香南市社会福祉協議会にファミリーサポートセンター事業を委託し実施した。 活動回数：223回 (おねがい会員113人、まかせて会員42人) 			
		成果	<p>【地域子育て支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点となる総合子育て支援センター「にこなん」の周知が進み、利用者が増加している。母親の利用がほとんどではあるが、夫婦や父親だけの利用者も見られる。 母親：6,278人(前年度比：499人増) 父親：759人(前年度比：192人増) <p>【ファミリーサポートセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内2カ所(吉川町、香我美町)のまちづくり協議会及びまちづくり評議会で事業周知を行った。 ・総合子育て支援センター「にこなん」において安全講習を行うことで、夫婦や男性の参加促進に努めた(参加者23人のうち男性2人)。 		
		課題	<p>【地域子育て支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援を必要とする家庭などに対する、利用促進について検討する必要がある。 ・利用者からの子育ての相談に応じ、実情の把握に努め、相談内容や利用者等の状況などに応じて情報提供や助言、支援につなげる。また、内容に応じて保健師や保育所等と情報を共有し、共に支援を行っていく。 ・こども家庭センターに、迅速かつ適切に情報共有・連携を行い、必要な支援につなげられるようにする。 ・総合支援センター「にこなん」の利用者アンケートで出された意見や要望(休日開設や一時預かり)などの利用者ニーズに沿ったサービスをどのように提供していくのか検討していく。 <p>【ファミリーサポートセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共働き家庭などのニーズは高まっているが、ボランティアのなり手が不足しており、新規のおねがい会員数に比べ、まかせて会員数が伸び悩んでいる。 ・マッチングに苦慮するケースや会員登録はしているものの活動に至らない会員も多い。 		
	達成度	①：概ね達成できた ②：達成には至らないが取り組み中 ③：未実施			
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度 計画内容	<p>【地域子育て支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子のひろばの土曜日開設(9時～11時30分)を毎週実施する。 ・毎月第3金曜日の午後及び保育所における家庭保育協力日に合わせて「にこなんであそぼう!」と題して、利用対象者を未就園児に限定せず、市内市外問わず就園児の利用拡大を行う。 ・出張ひろばを香我美おれんじ保育所、夜須こども園、野市東こども園で行う。 <p>【ファミリーサポートセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会と協働し、地域のまちづくり協議会等で事業の周知を行い、まかせて会員の確保に努める。 				

具体的な取組③		保育施設の受け入れ枠の拡大や低年齢児保育、病後児保育など、多様な保育サービスの提供に努めます。	
個表番号 40	各課の取組	保育施設の受け入れ枠の拡大や低年齢児保育、病後児保育など、多様な保育サービスの提供に努める。	課名 こども課
	前年度事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 一時預かり保育を香我美おれんじ保育所、夜須こども園で実施した。 預かり保育を公立幼稚園とこども園で実施した。 土曜預かり保育を公立幼稚園全園で実施した。 野市東保育所と野市東幼稚園を統合して「野市東こども園」を開園し、乳児の受け入れ枠を拡大した。また、早朝の受け入れ時間を30分早めて午前7時から行った。 病後児保育事業を総合子育て支援センター「にこなん」で実施した。登録者数：15人、延べ利用者数：2人 	
	成果	市立の全幼稚園とこども園で預かり保育を実施し、幼稚園等に通う児童の保護者の就労その他の活動支援につながっている。	
	課題	野市地区の人口増により、自宅近くの希望施設への入所が難しくなっている。また、全国的な保育士不足のなか、保育士の処遇改善や働きやすい環境づくりに努め、保育士の確保を行っていく必要がある。	
	達成度	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施	
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度計画内容	<ul style="list-style-type: none"> 香我美おれんじ保育所と夜須こども園で一時預かり保育事業を実施する。 就労等家庭の保育ニーズに対応するため、幼稚園での預かり保育を継続して実施する。 令和8年4月から夜須こども園で、保護者の就労状況や理由に関わらず、時間単位で保育を利用できる「こども誰でも通園」を実施し、保育士や同年代のこどもと関わることで、こどもの健やかな育ちを応援する。 		

具体的な取組④		放課後児童クラブ及び放課後こども教室を実施するとともに、児童クラブ支援員の確保やニーズに合ったサービスの充実に努めます。			
個 表 番 号 41	各課の取組	放課後児童クラブ及び放課後こども教室を実施する。	課名	こども課	
	前年度 事業実績	【放課後児童クラブ：12か所】R7.4.1現在 ※下の数字は、実施日数/登録児童数。()内はR6年度の実績。 ・野市小第一児童クラブ：250日/48人(250日/48人) ・野市小第二児童クラブ：250日/34人(248日/35人) ・野市小第三児童クラブ：250日/50人(250日/49人) ・野市小第四児童クラブ：250日/47人(249日/46人) ・佐古小第一児童クラブ：250日/38人(250日/45人) ・佐古小第二児童クラブ：250日/40人(250日/41人) ・野市東小第一児童クラブ：250日/30人(250日/29人) ・野市東小第二児童クラブ：250日/45人(250日/42人) ・若杉児童クラブ：250日/17人(249日/16人) ・コスモス第一学童クラブ：244日/36人(242日/36人) ・コスモス第二学童クラブ：250日/40人(250日/40人) ・夜須はーと児童くらぶ：250日/33人(246日/29人) ・合計登録児童数：458人(456人) 【放課後こども教室：2か所】R7.4.1現在 ※下の数字は、実施日数/登録児童数。()内はR6年度の実績。 ・野市小学校放課後子ども教室(スマイル)：85日/46人(31日/28人)※R6.11.12から再開 ・吉川小学校放課後子ども教室(うなお)：135日/38人(137日/37人)			
		成果	放課後、保護者が就労等により家庭にいない小学生の児童に対し、適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図るとともに、保護者の仕事と家庭の両立支援に寄与することができた。		
		課題	・利用希望者全員の受け入れができていない児童クラブがある。 ・児童クラブ支援員には、多様化する保育ニーズに対応できる資質が求められるため、県主催研修等への積極的な研修参加を促し、支援員の資質向上を図っていく必要がある。		
		達成度	④:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	・市のHPや広報誌、香南テレビなどでの広報のみでなく、地域情報誌などの有料広告も活用し、児童クラブ支援員の確保に努めるとともに、ニーズに合ったサービス拡大を検討する。 ・R8年度より夜須はーと児童くらぶの運営主体が、保護者会から市へ変更となる。 ・市の行政改革の取り組みにおける事務事業の見直しの中で、重要な行政課題の一つとして「放課後児童クラブの運営について」があげられていることから、歳入を増やす取り組み(補助金の最大限活用、保護者負担金の見直し)、歳出を削減する取り組み(こども課と支援員業務全般の見直し、支援員の配置基準の見直し)を行い、持続可能な運営のあり方を検討する。				
具体的な取組⑤		各地区の在園児で、支援の必要な家庭の訪問などを実施します。			
個 表 番 号 42	各課の取組	家庭支援推進保育士を配置し、支援の必要な家庭の訪問などを実施する。	課名	こども課	
	前年度 事業実績	・家庭支援推進保育士を、赤岡保育所と吉川みどり保育所に配置し、家庭支援推進保育士を配置していない園は、所属長や副所属長、親育ち支援担当者が主となり家庭支援を行った。 ・朝夕の送迎時や家庭訪問などを通して、随時保護者と面談を行い、保育所等と家庭での子どもの様子などを情報交換しながら家庭の状況や保護者の困り感を理解し、把握した。 ・担任や関係機関と連携し、園内で役割分担をして適切な配慮や支援を行った。 ・赤岡保育所と吉川みどり保育所においては、年間5回(隔月)家庭支援推進保育の連絡会を行った。			
		成果	・家庭環境に配慮した子どもの支援や保護者支援を行い、保護者との信頼関係を築きながら子育てに対する不安などを緩和し、子どもの健やかな育ちを促進することができた。 ・赤岡保育所と吉川みどり保育所では、連絡会を行うことによって横のつながりを持ち、それぞれの園の実態から年間の重点取り組みを決め、支援を実施し、日常生活における基本的な生活習慣の見直しに繋げることができた。 ・生活実態調査の結果から、本年度重点取組として排便習慣に関する“うんち調べ”を行い、排便から生活リズムの見直しや朝食、就寝の大切さを親も子どもも知ることにつながった。		
		課題	・家庭支援推進保育士の配置の有無に関わらず、担任や担当のみの支援ではなく、園全体としての対応・支援となるための園内体制の強化を図る必要がある。 ・保育士不足の中で専任の家庭支援推進保育士を配置することが困難なため、各所園で工夫しながら事業を進める必要がある。 ・保育所等のみでは対応できない課題が多いため、関係機関との連携を更に強化する必要がある。		
	達成度	④:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施			
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度 計画内容	家庭支援推進保育士を赤岡保育所と吉川みどり保育所に配置し、その他の保育所・幼稚園・こども園においても所属長や副所属長、親育ち支援担当者が主となり家庭支援推進保育事業を進めていく。				

具体的な取組⑥		ライフステージに合わせた各種料理教室などを開催します。			
個 表 番 号 43	各課の取組	ライフステージに合わせた各種料理教室などを開催する。	課名	生涯学習課	
	前年度 事業実績	夏休みこども教室は親子だけでなく、家族での参加もみられた。また、趣味・教養教室では田舎寿司作り教室・コーヒー教室、ウクレレ弾き語り教室、ギター教室、森林教室等)には親子や男性の参加があった。			
		成果	夏休みこども教室については、家族に魅力を感じてもらえる企画ができた。また、趣味・教養教室についても、年代・性別を問わず興味や関心を持っていただけるような企画となり、従前よりは幅広い年代層の参加につなげることができた。		
		課題	開催曜日・時間帯など、市民の多様な生活に合わせた教室を開催する必要がある。		
	達成度	①:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施			
本年度計画	<input type="checkbox"/> 継続 · <input type="checkbox"/> 統合 · <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 · <input type="checkbox"/> 縮小 · <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度計画内容	各公民館が連携して公民館開催事業の充実をさせ、市民の生涯学習について充実を図る。				

基本目標	3 安心して多様な暮らし方ができるまちづくり
-------------	-------------------------------

推進方策	(1) 地域における男女共同参画を推進する			
取組の方向性	①地域活動への参画の促進			
具体的な取組①	さまざまな立場からの地域社会活動への参画を推進します。			
個 表 番 号 44	各課の取組	男女が共に地域活動への参画ができる機会を増やすため、自治会、協議会の全地区設立を目指す。	課名	地域支援課、各支所
	前年度事業実績	自治会や協議会への住みよい地域づくりに向けた補助金等の支援により活動が活性化され、防災や美化活動など男女が共に参画し、それぞれが団体を支える役割を担っていくことができた。		
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会や協議会への住みよい地域づくりに向けた補助金等の支援により活動が活性化され、防災や美化活動など男女が共に参画し、それぞれが団体を支える役割を担っていくことができた。 ・まちづくり自治会・まちづくり協議会の基礎となる町内会の加入が毎年1%程度減少しているため、宅建協会と不動産協会とまちづくり評議会と香南市の4者で町内会加入促進の協定を結び香南市に新たに新築・改築される方に事前に町内会加入チラシを配っていただき加入促進を行った。また、町内会加入促進の取り組みとして1戸建ての転入者の方に町内会の加入をお願いした。 ・野市地区は新興住宅地が多く、団地化された地域で町内会を2つ設立できた。 ・自治会未設立地区1地区の設立に向けた取り組みを進めており、規約・事業計画・予算の案づくりを行った。 ・自治会組織率92.6% (88/95) 協議会組織率57.9% (11/19) 		
	課題	地域のつながりや活動の活性化に向け、自治会・協議会が設立できていない地区への設立支援及び、設立済み自治会・協議会については、各団体に応じた活動活性化への支援を行う必要がある。		
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度計画内容	男女が共に地域活動への参画ができる機会を増やすため、町内会加入率を上げるために転入者の勧誘活動を行い、未設立地域の自治会、協議会の設立をめざすとともに、設立済み自治会などの活動継続に向けた支援に引き続き取り組む。			

具体的な取組②	男女がともに地域を構成する一員としての自覚を持ち、地域環境保全活動に主体的に参加する意識を高めます。			
個 表 番 号 45	各課の取組	環境監視員の人材確保も含め女性の参画を図りながら、監視パトロールを実施する。	課名	環境対策課
	前年度事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・香南市環境監視員5名(内女性1名)で市内各地域の不法投棄箇所等のパトロールを実施した。 →毎月第3火曜日の午前中に2班に分かれ、年間12日(定期活動日)行い、延べ24回実施した。 ・パトロールに使用する公用車2台に「不法投棄監視パトロール中」のマグネット看板を張り、エリアを分けて、過去に不法投棄された現場等の巡回を行った。 ・環境監視員は「不法投棄パトロール」と記した帽子を被って実地確認を行い、女性を含む環境監視員の活動周知、不法投棄防止の啓発を行った。 ・14名(内女性4名)の委員による「香南市廃棄物減量等推進審議会」を3月に開催し、令和8年度の施策展開や手数料の見直しについて協議した。(当日女性2名、男性1名欠席) 		
	成果	不法投棄パトロールや廃棄物減量等推進審議会に参加していただくことで、幅広い視点で意見を聞くことができた。		
	課題	廃棄物に関する市の現状や、不法投棄等地域の抱える問題を幅広く周知理解していただくことが必要である。今後は環境活動に関心を持つ人材を育成・確保する必要がある。		
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度計画内容	人材の育成と確保に取り組みながら、不法投棄パトロールを継続して実施し、香南市廃棄物減量等推進審議会についても定期的開催する。			

取組の方向性	②防災分野での男女共同参画の拡大			
具体的な取組①	自主防災組織等の活動において、女性の参画を推進します。			
個 表 番 号 46	各課の取組	自主防災組織等の活動において、女性の参画を推進する。	課名	防災対策課
	前年度事業実績	香南市総合防災訓練や避難所開設運営訓練等において、女性の積極的な参画を依頼した。		
	成果	香南市総合防災訓練は雨天で避難訓練のみとなったが、避難所開設運営訓練等において一部では女性がリーダーや主要役職を担い、マニュアルに記載していない配慮事項などを実施していた。		
	課題	多様な場面において女性が意見を積極的に発言できる環境を醸成する必要がある。		
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度計画内容	各種訓練等において女性の参加範囲の更なる拡大に取り組む。			

推進方策		(2) あらゆる人の安心を支える			
取組の方向性		① 貧困など困難を抱える人（ひとり親家庭等）への支援			
具体的な取組①		ひとり親家庭等に向けた医療費助成や自立支援などを実施します。			
個表番号 47	各課の取組	児童扶養手当の支給及びひとり親家庭などに向けた医療費助成を実施する。	課名	市民保険課	
	前年度事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 児童扶養手当の支給（受給者255人） ひとり親家庭などに向けた医療費助成を実施（受給者502人） 			
		成果	児童扶養手当やひとり親家庭医療制度を離婚届提出時に個別に制度説明を行い申請の遅れを防ぎ、手当の支給及び医療費を助成することによって、ひとり親世帯の生活の安定と福祉の向上につなげることができた。		
		課題	離婚直後の世帯状況や所得によって対象とならない場合があるが、状況が変われば受給要件を満たす場合があるため、更新時期に広報など制度の案内を継続して行う必要がある。また、窓口での相談に応じ、必要な支援の窓口につなげられるよう、ひとり親家庭等に関する制度についての知識を習得し関係各課との連携を密にする必要がある。		
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施			
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度計画内容	ひとり親家庭を対象とした制度を広く知っていただくため、広報誌やホームページ、更新時期に制度の案内を行う。				
個表番号 48	各課の取組	ひとり親家庭自立支援事業費補助金や高知県母子父子寡婦福祉資金等の活用により、ひとり親家庭の自立支援に取り組む。	課名	福祉事務所	
	前年度事業実績	ひとり親家庭などの自立支援として自立支援教育訓練給付事業（申請：1件）、高等職業訓練促進給付事業（相談：2件、給付：1件）を実施した。高知県母子父子寡婦福祉資金貸付事業（相談：3件）			
		成果	市広報やホームページで啓発を行い高知県母子父子寡婦福祉資金貸付事業、自立支援教育訓練給付事業、高等職業訓練促進給付事業によるひとり親への自立支援につなげることができた。		
		課題	相談者の生活設計などを踏まえ、制度の活用について案内する必要がある。		
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施			
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度計画内容	高知県母子父子寡婦福祉資金貸付事業、自立支援教育訓練給付事業、高等職業訓練促進給付事業を継続して実施する。				
取組の方向性		② 困難な状況におかれている女性への支援【困難女性支援基本計画】			
具体的な取組①		月経トラブルをはじめ、性差によってさまざまな困難を抱える女性に対し、解決に向けた支援や困難の解消に向けたサポートを行います。			
個表番号 49	各課の取組	公共施設のトイレで、相談窓口を記載したカードを同封した生理用品（個包装）の無料配布を行う。	課名	人権課	
	前年度事業実績	生理用品（個包装）の無料配布事業は行っていないが、相談窓口等の情報提供を行った。			
		成果	事業実施ができなかったものの、配布に代わる情報提供ができた。		
		課題	物資配布に依存しないサポートの具体的な手段について検討する必要がある。		
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施			
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止				
本年度計画内容	情報アクセス手段の改善・拡充などにより、物資配布に依存しない支援を今後の「各課の取組」とする。				

取組の方向性		③高齢者や障害のある人、外国人市民への支援	
具体的な取組①		高齢者が健康で充実した生活を送ることができるよう、自立支援に対するサービスや生きがいづくりに向けたさまざまな支援を行い、介護者の負担軽減を図ります。	
個表番号 50	各課の取組	高齢者が健康で充実した生活を送ることができるよう、介護予防事業等の充実を図る。	課名 高齢者介護課
	前年度事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症施策推進事業：認知症カフェの開催 5カ所(直営：1カ所 委託：3カ所 家族会主催：1カ所) うちR7年度新規開設：1カ所 開催回数：78回、参加者数(延)：1,568人 (R8.4.1時点) ・在宅福祉事業：介護用品の支給：支給者38人(男性15人、女性23人) 要介護3以上に該当する非課税世帯の高齢者を、在宅で介護している非課税世帯の介護者に対し、紙オムツ等の介護用品を支給し在宅介護負担軽減を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防事業 楽習広場、運動啓発事業をNPO法人こうなんスポーツクラブに委託、お達者教室は社会福祉協議会に委託、いきいきクラブ事業は地域の34地区で実施し、いきいきクラブ活動費補助金として活動費の一部を補助。 <ul style="list-style-type: none"> 楽習広場(月1回) 延265人参加 実人数(男性：3人、女性：30人) お達者教室 2会場で実施 延2,451人参加 実人数(男性：0人、女性：65人) 	
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきクラブでは、フレイル予防の健康教育、地域でできるストレッチの紹介等を行い、地域での活動が継続できるよう支援を行うことができた。お達者教室や楽習広場においては、参加者らの生活状況や身体状況の評価をして、健康教育に活かすことができた。 ・要介護状態になっても、維持・改善を図り、在宅での介護用品支給や介護手当により負担軽減を行うことができた。 	
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防の取り組みへの理解と周知徹底が必要であり、高齢期前からの生活習慣の見直しやフレイル予防の普及啓発継続して取り組む必要がある。 ・世代を通じた介護予防への取り組み支援体制の整備を行う必要がある。 ・認知症カフェは、当事者やご家族の参加がまだ少ない。 	
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施	
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保健事業等との連携による介護予防事業対象者の掘り起こしと利用勧奨等により、男性及び前期高齢者の加入促進と地域の支援者育成に取り組むとともに、運動等介護予防の取組効果を目的としたメニューを取り入れ、男女ともに生きがいや健康づくりを通して地域で活動できる場の確保を図る。 ・認知症カフェは、当事者やご家族が安心して参加できるように運営の工夫等を支援していく。 		
個表番号 51	各課の取組	高齢者や家族の相談窓口の設置、高齢者世帯などの実態把握に努める。	課名 高齢者介護課
	前年度事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者やその家族への訪問及び実態把握を実施した。 ・要介護認定者(介護度1～5)で、介護保険サービス未利用者や健診・医療・介護サービスいずれも未利用の後期高齢者へ訪問し実態調査と必要なサービスにつなげる支援を実施した。 ・高齢者の身近な相談窓口である民生委員と情報交換を行い、見守りが必要な方を把握し訪問を行った。 ・認知症カフェ等で介護や福祉サービスを情報提供し、不安や悩みの解決が図れるように工夫した。 	
	成果	高齢者やその家族、介護者への相談対応や情報提供が実施できた。	
	課題	独居高齢者や高齢世帯等社会とのつながりが希薄になり孤独になっている高齢者が増えている。	
	達成度	A:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施	
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者やその家族への訪問及び実態調査の実施をする。(継続) ・要介護認定者(介護度1～5)で、介護保険サービス未利用者や健診・医療・介護情報のない後期高齢者に対する実態調査の実施をする。(継続) ・社会福祉協議会の地域支援員及び生活支援コーディネーター、民生委員らとによる情報共有及び高齢者見守り活動の実施をする。(継続) ・見守りが必要な高齢者の社会参加について生活支援コーディネーターや関係機関と協議をしていく(拡充) 		

個表番号 52	各課の取組	いきいきクラブ事業や自主運動グループ、高齢者クラブなどを実施する。	課名	高齢者介護課
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域で気軽に集い、生きがいや健康づくりの取り組みができる場として、いきいきクラブ事業や自主運動グループ、高齢者クラブ事業などを実施した。女性の参加が多く、地域のボランティアなどの役割を担っている。 ・高齢者クラブについては、男性の代表者が全体の約7割を占めている。 【いきいきクラブ事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・実施会場数 合計：34 赤岡町1 香我美町7 野市町16 夜須町7 吉川町 3 【自主運動グループ】 <ul style="list-style-type: none"> ・実施会場数 合計：26 赤岡町1 香我美町4 野市町13 夜須町7 吉川町1 【高齢者クラブ】 <ul style="list-style-type: none"> ・単老数(単位老人クラブ数) 合計：20 赤岡町8 香我美町0 野市町11 吉川町1(※夜須地区は、高齢者クラブ連合会で活動している。) 		
		成果	【自主運動グループ、いきいきクラブ】 <ul style="list-style-type: none"> ・いきいきクラブは、令和6年度より委託事業から補助金に変更。補助金の申請・実績報告等で混乱することなく各地区主体の活動継続ができるよう支援を行った。 ・自主運動グループ各地区には運動指導士を各地区2回派遣し、活動のフォローを行った。 ・地域活動へのボランティア育成と活動体制整備が図ることができた。 	
		課題	新規会員が少なく会員数は減少傾向で、高齢化・固定化が進んでいる。また代表者、ボランティアの高齢化も進み活動を継続できない地区が出てきている。	
	達成度	④:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきクラブ事業を継続して実施する。 ・介護予防の視点をより重視した取り組みを地域の活動の中で継続し、参加者主体の活動支援を推進する。 ・自主運動グループの活動継続支援を行う。 ・自主運動グループ同士の情報交換や活動報告を継続しながら、活動の見直し、フォローを行い、地域での運動習慣や体力づくりを推進する。 ・男女ともに生きがいや健康づくりを通じて地域で活動できる場の確保を図る。 			

具体的な取組②				
個表番号 53	各課の取組	障害のある人が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、各種福祉サービス等の充実を図るとともに、介助者の負担軽減を図ります。	課名	福祉事務所
	前年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動支援センター事業を実施し、創作的活動や生産活動の機会の提供、社会との交流の促進を図り、障害者の地域生活の支援を行った。 ・地域活動支援センター事業参加者(見込み)日中活動：3,800人、相談件数：1,350件 ・地域活動支援センターあけぼの等で障害のある方やその保護者等からの相談に応じ、必要な情報提供等を行った。 ・障害のある人が自立した日常生活や社会生活を送ることができるように地域生活支援事業及び障害福祉サービスを実施した。 		
		成果	障害者の地域生活の支援として地域活動支援センター事業と障害福祉サービスの利用を活用し、自立した日常生活が送れるよう支援を行った。	
		課題	障害者の地域生活の支援となる取り組みができたが、多様化する相談や支援内容に対応するため関係機関との連携を強化し、幅広い相談に対応できる体制の構築が必要である。	
	達成度	④:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の日常生活における相談や社会との交流の機会の提供など地域生活支援の促進を図るため、事業を実施する。 ・相談体制の強化については自立支援協議会等を活用し、検討を行う。 			

取組の方向性		④性的少数者への支援			
具体的な取組①		性的少数者への差別や偏見をなくすため、啓発を行うとともに、性別等に関わる悩みや問題を抱える方に、相談体制を周知し、情報の提供に努めます。			
個 表 番 号 54	各課の取組	性の多様性に関する理解を深めるための講演会等を実施する。	課名	人権課	
	前年度 事業実績	各課窓口で、にじいろのまちミニのぼりの設置を継続した。			
		成果	各課窓口や香南市企業等人権問題連絡協議会の加盟企業に対して、にじいろのまちミニのぼりの設置を継続し、周知、啓発が図れた。		
		課題	継続して周知していく必要がある。		
		達成度	④:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	香南市企業等人権問題連絡協議会の会員企業や各課窓口で、にじいろのまちミニのぼりの設置を継続する。				
個 表 番 号 55	各課の取組	パートナーシップ宣誓制度の普及・啓発を行う。	課名	人権課	
	前年度 事業実績	各課窓口で、にじいろのまちミニのぼりの設置を継続した。			
		成果	各課窓口にて、にじいろのまちミニのぼりの設置を継続することはできたが、啓発物の作成や講演会などは行っていない。		
		課題	企業へのパートナーシップ宣誓制度の周知において、香南市企業等人権問題連絡協議会の新規会員が見込みず、地域への波及効果が頭打ちとなっている。		
		達成度	④:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・香南市企業等人権問題連絡協議会の会員企業や各課窓口で、にじいろのまちミニのぼりの設置を継続する。 ・ポスター、チラシ等で引き続き周知を行う。 ・香南市企業等人権問題連絡協議会の会員を増やすため、企業訪問や商工会に働きかけを行う。 				
具体的な取組②		性的少数者に配慮した相談支援が行えるよう、市職員や保育士、教職員などの理解促進を図ります。			
個 表 番 号 56	各課の取組	性の多様性に関する職員研修を実施する。	課名	人権課	
	前年度 事業実績	○性的マイノリティに関する職員研修（主に未受講者および新規採用職員向け） 日 時：令和8年2月20日（金） 演 題：「性的マイノリティについて考える」 講 師：宮田 真 氏（レインボー高知 代表） 受講者数：10名			
		成果	「窓口の対応にて、どうい話し方や態度が適切なのかが分かりやすかった」「業務や日常生活での対応を振り返りたい」「当事者が何に悩んでいて何をしてほしいのかが分かった」といった意見があり、意識向上が見られた。		
		課題	「性的指向・性自認」は、人権課題の11の柱の中で、他の人権課題についての職員研修も企画する必要がある。毎年実施するのか検討する必要がある。。		
		達成度	④:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度 計画内容	未受講者および新規採用職員に向け、継続して研修会の開催を行う。				

推進方策		(3) 生涯を通じてからだところの健康を維持する		
取組の方向性		①妊娠・出産における保健医療対策の充実		
具体的な取組①		妊娠・出産における健康支援の充実を図ります。		
個 表 番 号 57	各課の取組	妊娠・出産における健康支援の充実を図る。	課名	健康対策課
	前年度 事業実績	○妊産婦健康診査等 ・妊婦一般健康診査受診票（妊婦14枚） 令和7年2月～令和8年1月診療月分 延2,172件 ・産婦健康診査受診票（産婦2枚） 令和7年2月～令和8年1月診療月分 延369件		
		成果	・母子健康手帳の交付時に全数面接を行い、妊娠期から産後の健康診査を受診していただけるように周知することで、全数受診ができています。 ・産婦健診の結果、地区でのフォローの必要な方は早めに医療機関より情報を共有させていただき、特にメンタルのフォローなど早めの介入につなげることができた。	
		課題	産後の心身の不調や子育てでの相談に早期に対応できるように、医療機関との連携を継続する。	
	達成度	④:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
	本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度計画内容	妊婦面談の全数把握を継続する。産科医療機関との連携をはかり産後早期に支援が必要なケースの把握に努める。			
取組の方向性		②適切な性教育の推進		
具体的な取組		市広報誌やホームページなどの媒体を通じて、性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）や、HIV等の感染症についての情報提供と感染予防の啓発を行います。また、学校における性教育についても計画的に行います。		
個 表 番 号 58	各課の取組	小中学校における性教育の充実を図るとともに、学校日より保健だよりの発行に加え、ホームページへの掲載も適宜活用することで、家庭や地域への情報発信と理解促進を進める。	課名	学校教育課
	前年度 事業実績	市内の全小中学校において、教科書や各種副読本、映像教材などを活用し、理科や保健体育、特別活動といった枠組みの中で計画的に性教育を実施した。		
		成果	「令和7年度保健教育に関する指導外部講師派遣事業」の活用校・学年が増加したことで、専門家から科学的知識や自他の心身を守る方法を直接学ぶ機会が充実した。（実施校：5校、実施学年：9→10学年へ増加）。各校の報告からは、保健教育のさらなる充実に向けた意識の高まりが伺えた。	
		課題	学習が自他を尊重した行動や意思決定の実践につながっているかについては、十分な検証に至っていない。	
	達成度	④:概ね達成できた B:達成には至らないが取り組み中 C:未実施		
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止			
本年度計画内容	ヒアリング等により各校の指導実態を把握し、課題については関係機関と連携して対応することで、指導内容をより一層充実させていく。			

取組の方向性		③生涯にわたる健康の保持増進	
具体的な取組		各種健診、特定保健指導、保健指導（健康増進法）、各種教室を実施します。	
個 表 番 号 59	各課の取組	特定健診とがん検診のセット検診を実施する。	課名 健康対策課
	前年度 事業実績	特定健診 対象者…4,521人 受診者数 男性 618人 女性 758人 (R8.3月月例報告) 健康診査(20~30代) 受診者数 男性 37人 女性 44人 胃がん検診 対象者…21,023人 受診者数 男性 535人 女性 797人 大腸がん検診 対象者数…21,023人 受診者数 男性 951人 女性 1,497人 肺がん検診 対象者数…21,023人 受診者数 男性 1,580人 女性 2,268人 特定保健指導 対象者①…積極的支援61人 指導者数 男性 19人 女性 4人 対象者②…動機づけ支援155人 指導者数 男性 32人 女性 23人 (R8.3月月例報告)	
	成果	・特定健診は、AIを活用した受診勧奨やWEB予約、健診会場デジタル化により受診率が伸びている。 ・特定保健指導は、健診結果の振り返りや、生活習慣改善のきっかけに繋がっている。	
	課題	壮年期の受診率が低く、更なる受診勧奨を行う必要がある。	
	達成度	A:概ね達成できた ⑥:達成には至らないが取り組み中 C:未実施	
本年度計画	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 ・ <input type="checkbox"/> 統合 ・ <input type="checkbox"/> 拡充 ・ <input type="checkbox"/> 縮小 ・ <input type="checkbox"/> 廃止		
本年度 計画内容	・受診しやすい健診体制づくり 集団健診…WEB予約・健診会場デジタル化・セット健診・休日健診 個別健診…受診勧奨ハガキを通知し個別健診を促進 AIを活用した受診勧奨や電話での受診勧奨、不来場者への連絡等を行う ・健診結果から生活習慣改善、必要な医療受診へつなげる		